

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第28号

発行 2015年05月15日

発行人 中村 晃

三種の神器

永井 辰夫



今年の一月末で会社勤務が満44年となり、厚生年金が満額貰えるので市役所を退職いたしました。

そこから一人農業（稲作）の始まりです。耕作面積は9反5畝（2850坪・9415㎡）。圃場は7枚有って半径800m以内に点在し、最小は4畝・最大は3反3畝。作付け品種は「ヒノヒカリ」。「コシヒカリ」「ひとめぼれ」に次ぐ全国第3位の生産量です。

<今年のスケジュール>

- ・3/27・28で1回目の耕転をトラクターで実施。
- ・3/30・31で2回目の耕転をトラクターで実施。
- ・4月末にJAに注文した種もみ40Kgが届きます。
- ・5/9に種もみを、HB101の1000倍希釈液60Lのポリバケツに、メッシュ袋8袋に小分けして1週間浸します。
- ・5/16、メッシュ袋をポリバケツから取出して軒先に吊下げ水切りをします。
- ・5/17、親しくしているAさん家から全自動播種機を借りて来て、5人掛りで2時間掛けて200箱に播種し、庭先に20段10列にして養生シートで囲い発芽を待ちます。
- ・5/22頃、発芽を確認したら畑に運んで5箱1組にして1列100箱を2列作り、寒冷紗を被せて黄色い新芽が緑色になるまで待ちます。列は1m離して中央にスプリンクラーを



設置してあり、箱土の乾換具合を見ながら15分ぐらい散水します。

- ・5/27頃、新芽が緑変して5cm位になったら寒冷紗を収納し、2列の苗床の周囲に野ウサギやアナグマに食害されないようにダイアジノンを撒きます。
- ・6/8・9で3回目の耕転をトラクターで実施。
- ・6/11・12・13で代かきをトラクターで実施。作業機はロータリーからハローに切替えます。
- ・6/14・15、6条の乗用田植機で除草剤を同時散布しながら田植。中苗なので活着に1週間掛かりジャンボタニシに食害されないように活動抑制剤を散布します。
- ・10/初、登熟具合や天気を見ながら2条刈りのグレンタック式コンバインで、4~5回に分けて稲刈り・乾燥します。乾燥モミはモミ箱と呼んでいる部屋に全量貯めま

す。

- ・10/10、粃摺りしてJAに出荷。今年の米価は4000円/30kgとの噂も……トホホホ。

小生が小学校の頃までは、田んぼに直播して苗床を作り、耕転・代かきは耕転機で行い、田植は部落の寄合で手植ええし、鎌で稲刈りして藁子積をして乾燥・脱穀し、粃摺りは部落総出で行って来ました。

現代農業は、三種の神器・トラクター・田植機・コンバインのおかげで一人農業が可能になりました。アリガタヤ、アリガタヤ。

近況報告（博多まち歩きの返信）

（不参加）

小林 憲二

九州に戻りもうすぐ一年になります。九州カネライトの仕事もやっと理解したところです。昨年から立て続けに災害が起き、改めて工場内の安全対策に頑張っています。3年の間に6名の定年退職と、いよいよ世代交代時期が近づいており、3月に2名の若手を採用します。その一人は18歳。我が子よりも一回りも若い世代で、気持ちだけは年をとらないようにしないと頑張っています。

上野 賢二

最近では長女が送ってくれる初孫の動画を見るのが楽しみになっています。尚、地元でお手伝いしている「城島酒蔵びらき」は2月14・15日に開催し、過去最高の11万人の来場者がありました。

石原 晋一郎

本社支部の工芸展世話人を、こちらに戻ってきてから引き受けて居り、そのため参加できません。

武田 敏光

元気にやっております。月1回の鐘華会ゴルフを楽しみに練習し、体力維持に頑張っています。

山中 俊一

毎日元気に過ごしております。

渡辺 和憲

6日は孫娘の小学入学式。カミさんと上京中です。

池野 治彦

元気にしています。

薬師寺 是文

晴耕雨読の毎日是不変わります。暖かい3月になりゴルフを始めようかと思えます。ジムに通いサウナに入浴、健康第一の生活を過ごしています。時々大分県の郷里に帰り新鮮な魚を食べて英気を養っています。

池田 広治

97才の母と私達3人暮らしです。老々介護で当分家を空けられません。残念ですが一。

坂元 均

元気でやっています。

西村 和夫

最近、庭の枝にミカンの二つ割りを置いておくと、メジロが来てくれます。只、後から来たモズが割り込みます。

“庭先にメジロの動き春近し

モズの割り込み コニクラシ “（オソマツ）

常森 喬紀

長らくご無沙汰しております。相も変わらず気力横溢なれども、東京、大阪出張などでは脊柱狭窄で、足が痛むこともあり、齢相応。中小企業の現役オヤジのこととて、何から何まで超多忙。なかなか卒業できそうもありません。カネカとは仕事の関係で頻繁に行き来しています。でも、皆様の顔が見たいなあ！

（順子も元気ですが、母の介護（101才）などで大変です。毎日の晩酌が一番心安らぐ時間です）

永井 辰夫（別に記載）

（参加）

園 博

毎日何の変化もなく日々を過ごしています。毎年、身体に変化がでてきて、今年は両足に異常が出て何とか3月に完治？ 休日は孫（コワッパ1号2号）の相手をしつつ、陰で一喝を入れ爺の威厳をキープ、(^o^)! なんとか残り少ない仕事の日々を過ごしております。

市木 丞

元気潑刺。日々を楽しく過ごしています。

成相 定雄

活動時間が4割少ないので、1年がものすごく短いです。春めきと共に外の活動が忙しくなってきます。今年はジャガイモを作ります。

檜崎 賢治

ボチボチいきとります。

王寺 常雄

お蔭様で元気ですので、今回もゴルフのみですが、どうぞよろしく願いいたします。

広政 誠

早朝5時から犬と毎日1時間ウォーキングで始まる1日です。変化の少ない日々！これが高齢者の幸せ？

竹内 久善

風邪も引かず元気に過ごしています。庭先での菜園は継続中。

川上 義人

3月29日にお袋の3回忌の法要を叔父、叔母を呼んで行い一つの区切りをつけました。最近、物忘れが激しくなりました。祖父母も母も叔父も認知症になりましたので、小生も心配しています。その予防の為、ゴルフ練習場のシニア会会長を引き受けて結構忙しくしています。

橋本 滋

鐘華会から喜寿のお祝いを頂きました。次は米寿を目指します。（白寿は無理かも）愛車も13年経過、13万kmを超えました。車が動かなくなるか、運転手が先に駄目になるかの競争です。2月、認知症テスト無事クリア。後期高齢者運転免許更新できました。あと3年、運転は大丈夫。愛車は？

上野 與志隆

そろそろ身辺整理をせねばと思っているのですが、俗世の遊びが恋しくてマナラナイ日々が続いています。今の遊びはゴルフとボランティア。

真部 邦則

相変わらずゴルフ三昧に日々ですが、スコアは低位のままです。冬から春に向かって木々の花々が咲き景色を見る楽しさのみにゴルフ人生を続けています。

中村 晃

今年の2月、鼠径ヘルニア（いわゆる老人性脱腸）で4日間の入院・手術を経験しました。4月1日は大学卒業50周年のお祝いに入學式に招待され参加しましたが、感無量でした！！

「福岡・博多のまち歩き」

第13回山九会コンペ報告



承天寺にて

九州支部では、毎年春はカネカ関連の会社を訪問していたが、受け入れ側の負担等を考えて、今年は「博多の寺社めぐり」をやることになった。

4月6日(月)、地下鉄「祇園」駅に9名が集合し、まず「承天寺」へ。特別に方丈に上がることで来て、日本と中国の間の玄海灘を表しているという枯山水の庭を観ることが出来た。場内には「うどん・そば発祥の地碑」があり、博多祇園山笠の発祥の寺でもある。

新しい博多のシンボルとして昨年完成した「博多千年門」を経て「聖福寺」へ。宗で禅を修めた栄西が創建した日本最古の禅寺で、持ち帰ったお茶を境内で栽培し、全国に広めたとのことである。

続いて「東長寺」へ。弘法大師(空海)が唐から帰国して最初に建てたお寺で、名物の「福岡大仏」は木造座像としては日本最大級で、またその裏には「地獄極楽巡り」があり、生きながら「あの世」を垣間見られる貴重な体験をした。

人魚の骨が祀ってあるという「龍宮寺」を経て、山笠で有名な「櫛田神社」へ。博多の総鎮守として広く市民に愛されている。

そして、昔の鐘紡博多工場跡地に建つ複合商業ビル「キャナルシティ博多」を通して、近くの居酒屋で懇親会。まち歩きには成相さんが久しぶりに参加してくれたが、そこでお別れ。

現役組2名を含めて11名で、いつもの様に賑やかな宴会となったが、翌日のゴルフ組が多く、酒の量は皆さん少し控えめだったような気がした。

中村 晃 記

- 開催日時：平成27年4月7日(金)
- 場所：海ゴルフクラブ
- 成績：晴れ時々曇り、海辺強風

順位	氏名	NET	順位	氏名	NET
優勝	上野與志隆	71.8	5	川上義人	78.0
準優勝	竹内久善	73.0	6	広政 誠	78.0
3	王寺常雄	73.0	8	真部邦則	78.2
4	橋本 滋	77.0	8	坂本正志	92.0

4. 講評：

- ① 玄海クラブは海岸の松林に覆われた名門コース。REG. 6452ヤード、GOLD. 5487ヤードと1,000ヤードも短い年寄りに有利なコースでのコンペとなった。
玄海コース特有の強い海風に各選手戸惑ったが、HDが成績に大きく影響した。結局、上野選手の優勝で、次回宝石取りきり候補橋本・上野の両選手。取りきり阻止を期待。
- ② 上野選手は前からのティショットで飛距離を稼ぎ、14ホールまで着実なペース。最後の4ホールで11オーバーと実力発揮するも、隠しホールになり本人もびっくりの優勝。
- ③ 2位の竹内選手のティショットは大きなスイングから高い球筋で飛距離を出すのが、殆どがクロスバンカーに入り苦戦を強いられた。ハンディに助けられ準優勝。
- ④ 3位の王寺選手は、出だし10、10で心配させたが、手堅いゴルフ。悪いところは隠しホール入れる技術を発揮。ハンディも味方にして入賞。
- ⑤ 宝石取得に一番近い橋本選手は、昨晚からの睡眠不足で集中力を欠く。特にフェアウェイショットのミスでうなり声が聞こえる。しかしグリーン上ではその技術の冴えを見せる。本人ハーフで60を切ったと口にはしているが内心は歯がゆい心境。
- ⑥ 体調今一つの川上プロは元気よくフェアウェイを歩き、カートの世話にならない。本人曰く、ティショットは良かったが、出だしの1番でトリ、10番で+4で今日は終わりと。
- ⑦ 優勝候補・広政プロはパーを出したところは隠しホールに、トリブルのホールは隠しになっておらず、ダブルペリア方式に泣かされた。しかし、ベスグロ90で本人は満足。
- ⑧ 真部プロ、スタートからトリ、トリと出たので不穏な気配。特に内陸のプロ選手は海の強い風には兜を脱いだのか、スライスや、シャンクにも悩まされ、頭に来てしまったようだ。本日は全く調子が出ずじまい。帰路安全運転望む。
- ⑨ 良い、悪いの両ショットを色々引き出す坂本選手は2回連続ブービーメーカー。但しバンカーショットに自信が付き、本人晴れ晴れの様子。次回メーカーから抜けると宣言。

5. 追記：

昼食の鯛茶漬はやはり美味しかった。ことを皆さんにご報告。 以上

上野 與志隆 記

【平成27年度支部活動報告】

◇ 既に実施した事項

年	月	日	活 動 内 容
27	01	26	(全体役員会)
	02	01	(鐘華 72 号)
	02	13	(運営検討委員会)
	02	18	支部幹事会 (黒崎)
	04	06	博多まち歩き・懇親会 (12 名)
	04	07	第 13 回山九会 GC・玄海 GC (8 名)

◇ これからの予定

年	月	日	活 動 予 定
27	05	15	支部だより 28 号発行
	06	24	(運営検討委員会)
	08	01	(鐘華 73 号)
	08	03	(全体役員会)
	08		支部幹事会
	11		第 16 回支部例会
	11		第 14 回山九会 GC
	11		支部だより 29 号発行

(特記事項)

- ・まち歩き・山九会 GC については別に記載。
- ・今年の例会は、現在思案中。世界遺産の北九州？大牟田？

(会員移動)

- ・特になし

【支部活動費 26 年度報告及び 27 年度予算】

項 目	26 予算	26 実績	27 予算
支部だより通信費等	15,000	12,368	16,000
例会写真代等	2,000	627	1,000
職場訪問通信費	4,000	3,976	4,000
幹事会交通費補助	4,000	4,000	4,000
例会案内	5,000	3,908	5,000
その他	0	0	0
合 計	30,000	24,879	30,000

- ・後藤さんが亡くなって、例会の写真が激減。川上さんの技術のレベルアップを期待しているが、はたして。

【 定例役員会報告 】

◇ 平成 27 年 1 月 26 日 (月)、カネカクラブにて定例役員会が開催された。

◇ 主な内容は下記の通り。

① 原会長挨拶

- ・第 8 回鐘華会総会も無事終了。
- ・会員数も 1,750 名近くとなり、「鐘華」の発行、各支部の活動も活発に行われている。
- ・社会環境が変化していく中で、鐘華会活性化のポイントは若手の活躍、女性会員の増員、カネカ及びグループ会社とのさらなる連携であり、その具体的活動等について検討する為、「運営検討委員会」を設置したい。

② 各支部の活動報告、活動計画について (高砂)

- ・H27 年 3 月の支部役員会で役員交代。片寄支部長、三浦副支部長は退任。後任は検討中。(大阪)
- ・支部例会へ鐘友会が参加するのは 4 年に 1 回であったが、これからは毎年参加を呼びかける。また、各種行事にも声をかける。(滋賀)
- ・クラブ活動 (文化・工芸展) の充実を図っていく。(鹿島)
- ・ゴルフコンペを定期的に開催することにした。(本社)
- ・美術工芸同好会の存続が難しくなり、5 月に写真、絵画、美術工芸の共同展を開催する。
- ・写真合評会で使用するプロゼクターを性能の良いものに変えたい。(東京)

- ・ホームページをリニューアルしたので見てほしい。
- ・支部例会を「四谷クラブ」で開催してきたが、参加者が増えれば、他の場所も検討する必要がある。(九州)

- ・2 月の幹事会で今年の計画を決めたい。

③ その他

- ・鐘華会入会時期の選択
定年後再雇用が増えた為、定年時に鐘華会に入会しない人がいるので、入会時期を選択制にしてはどうかと事務局から提案があったが、支部役員選出の問題等あるので、今後の課題とした。

あとがき

- ・永井さんが市役所を退職し、一人農業を始めたとのことなので、早速書いてもらった。随分機械化されているが、それにしても米価が安すぎて可哀想。もっと高く買ってやるべし。
- ・成相さんが、病院通いの間を縫って「博多まち歩き」に参加してくれた。久しぶりに会ったが、元気そうで安心した。
- ・山九会ゴルフコンペの記事は、上野さんの講評が面白くて部分カットが出来ず、集合写真を載せることが出来なかった。鐘華 73 号 (8 月発行予定) でご覧ください。